

※レーザーボンド誕生!

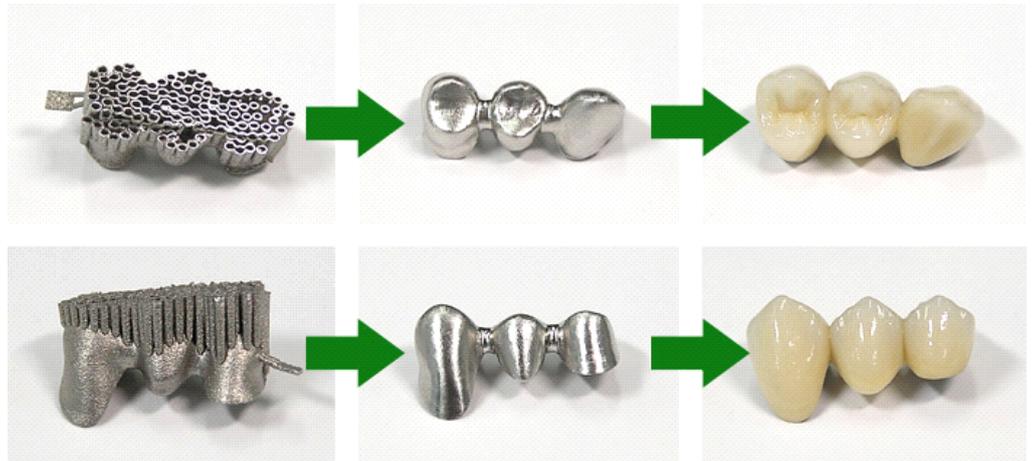
現在、被せものの治療の中で、一番見た目がキレイで、自然に見えるのは、**メタルボンド(セラミック)**です。

メタルボンドの輝きは、半永久的で変色もまったくありません。ただ欠点として、手作りの複雑な工程と、適合をよくするため、金(ゴールド)の含有量が多い金属を使用します。そのためどうしても高額になります。

今回、ドイツの最新機器「EOSINT M270」(略してEOS)を導入した、東京の歯科技工所との取引開始により、半額の値段で、皆さまへ提供できるようになりました。



歯の模型をスキャンし、パソコンの中で被せものを作り、EOSでコバルトクロムの粉体の上に、1500度のレーザーを照射、焼結。0.05ミリずつ金属にしていきます。そのため、誤差はほとんどありません。金(ゴールド)を使わなくても、今まで以上の適合性を誇ります。これで、行程の2/3は終わります。あとは、セラミックを1200度の高温で焼き付けます。



また、EOSに使われる金属は、専用の特殊な粉体処理を施された金属です。優れた強度、耐食性に加え、歯科修復での様々な要求を満たすよう、開発されました。歯科材料の生体適合性と細胞毒性に関して、欧州統一規格のEN ISOに対応した、クラウン、ブリッジ用金属です。

従来のメタルボンドに比べて、見た目は全く変わりません。輝きも半永久的ですし、変色はありません。ただ、技工士が直接口の中を見ないため、色調の再現性が若干劣ることがありますが、値段が半額なのは、魅力的でしょう!!!

わからないこと、もっと詳しく知りたい方、どんなことでもお気軽にスタッフにおたずね下さい。

セラミックというのは陶材のことです。

自然の歯の色や輝き、透明感を再現できる優れた素材です。長期間使用しても変色しにくく、プラークなどの付着も少ない特質を持っています。

◆変色しにくい=透明感のある自然な美しさが・白さがいつまでも続く！

保険のプラスチック冠は、構造上、色素や汚れを吸収しやすく、年月が経つにつれて、変色を起こしやすいのです。(個人差があります)。

3年後、5年後を比較すると



セラミック



プラスチック

◆磨耗しにくい=良い状態が長持ちします！

プラスチック冠は、磨耗しやすいのが欠点。毎日の歯磨きで磨耗していき、裏の金属が見えることも。また腐食が進むと嫌な臭いの元となります。

セラミック冠は、磨耗がほとんどなく、丈夫で美しい状態が続きます。



拡大



プラスチックは磨耗が進むと裏の金属が見えることも



◆細菌がつきにくく、清潔！！

プラスチック冠とセラミック冠、表面を500倍にして拡大してみると、表面の違いが歴然！。セラミック冠は、表面が滑らかで、むし歯や歯周病の原因となるプラーク（細菌）がつきにくく、歯磨きでしっかり落とすことができます。プラスチック冠は、長期間使用すると黄ばんだり、吸水性があることから、汚れや細菌がつきやすいのが、この表面からわかりますね。

表面が滑らかでプラークがつきにくい

セラミック

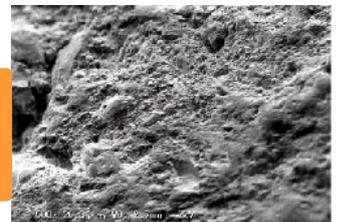


オールセラミック

レーザーボンド



スポンジのような表面で、プラークがつきやすい



プラスチック

◆価格表

材質	特徴	保証期間	価格
オールセラミッククラウン	素材すべてがセラミックで、透明感が高く最も審美性に優れています。金属アレルギーの心配もありません。	5年	129,600
レーザーボンドクラウン	イオン溶出が殆どない金属をコンピューターレーザー成形したメタルフレームに、陶材を焼き付けたセミオーダーメイドのリーズナブルなセラミッククラウンです。	3年	54,000